

石巻市障害者活躍推進計画に基づく取組の実施状況

I 評価年度

令和3年度

II 目標に対する達成度

1 採用に関する目標

障害者の雇用が義務付けられている市長部局及び教育委員会において、法定雇用率を上回ることを目標に掲げています。

令和3年度は、両機関ともに法定雇用率を上回り、目標を達成しました。

また、その他の機関においては、「所属職員の障害者雇用の推進に関する理解の促進」を目標に掲げており、障害者雇用に関する啓発誌を供覧するなど理解促進に努めました。

機関名	目標（法定雇用率）	達成度（実雇用率）	備考
市長	2.6%以上	2.67%	R3.6.1 現在
教育委員会	2.5%以上	3.05%	R3.6.1 現在

2 定着に関する目標

全機関において、新たに採用した障害者である職員のうち、6か月以内又は1年以内に離職しなかった者の割合（以下「定着率」という。）について、常勤職員及び非常勤職員ごとに次表の定着率を上回ることを目標に掲げています。

令和3年度は、障害者の採用実績があったのは市長部局及び教育委員会でした。教育委員会では、非常勤職員の6か月以内の離職があり目標値を下回りましたが、職場環境を原因としての離職はありませんでした。

(1) 常勤職員

機関名	目標（定着率）	達成度（実定着率）
市長	6か月：90%以上 1年：80%以上	6か月：100% 1年：100%
教育委員会		・採用実績なし
議会		
選挙管理委員会		
監査委員		
公平委員会		
農業委員会		
固定資産評価 審査委員会		

(2) 非常勤職員（会計年度任用職員）

機関名	目標（定着率）	達成度（実定着率）
市長	6 か月：80%以上 1 年：70%以上	6 か月：100% 1 年：100%
教育委員会		6 か月：66.7% 1 年：66.7%
議会		・採用実績なし
選挙管理委員会		
監査委員		
農業委員会		
公平委員会		
固定資産評価 審査委員会		

3 満足度、ワーク・エンゲージメントに関する目標

全機関において、障害者である職員のうち、仕事に対して満足している者の割合が80%、やりがい（ワーク・エンゲージメント※¹）を感じている者の割合が70%を上回ることを目標に掲げています。

令和3年度に実施したアンケートの結果※²では、いずれも令和2年度の83.3%から62.5%に低下し目標値を下回ったため、対象者の声を聞きながら対応改善を図っています。

機関名	目標	達成度（実績値）
市長	満足度：80%以上 WE※ ³ ：70%以上	満足度：62.5% WE：62.5%
教育委員会		
議会		
選挙管理委員会		
監査委員		
公平委員会		
農業委員会		
固定資産評価 審査委員会		

※1 ワーク・エンゲージメント（仕事への積極的関与の状態）とは、「仕事に誇りや、やりがいを感じている」（熱意）、「仕事に熱心に取り組んでいる」（没頭）、「仕事から活力を得ていきいきしている」（活力）の3つが揃った状態として定義されているものです。

※2 6ページ以降にアンケート結果を掲載しています。なお、アンケートは、市長部局において、全ての機関に所属する職員を対象に一括で実施しているため、達成度（実績値）についても機関ごとに算出せず、市全体での数値としています。

※3 「WE」は、ワーク・エンゲージメントの略

Ⅲ 取組内容の実施状況

1 障害者の活躍を推進する体制整備

(1) 組織面

機関名	取組状況
市長	・ 障害者雇用推進者（総務部長）を選任した。 ・ 障害者職業生活相談員（5名）を選任した。
教育委員会	・ 障害者雇用推進者（事務局長）を選任した。 ・ 障害者職業生活相談員（1名）を選任した。
議会	・ 障害者向け相談窓口を設置した。 （これらの機関に所属する障害者については、市長部局における相談窓口を利用することとしています。）
選挙管理委員会	
監査委員	
公平委員会	
農業委員会	
固定資産評価 審査委員会	

(2) 人材面

機関名	取組状況
市長	・ 随時、障害者雇用の推進に関する情報を共有し、所属職員の障害者への理解を深めた。
教育委員会	・ 障害者職業生活相談員選任予定職員（各機関1名～2名）に資格認定講習を受講させた。
議会	・ 随時、障害者雇用の推進に関する情報を共有し、所属職員の障害者への理解を深めた。
選挙管理委員会	
監査委員	
公平委員会	
農業委員会	
固定資産評価 審査委員会	

2 障害者の活躍の基本となる職務の選定・創出

機関名	取組状況
市長	・現に勤務している障害者や採用予定障害者の能力や希望も踏まえ、障害者と業務の適切なマッチングができているのかの点検を行った。
教育委員会	
議会	・障害者の雇用がないため、実績なし
選挙管理委員会	
監査委員	
公平委員会	
農業委員会	
固定資産評価 審査委員会	

3 障害者の活躍を推進するための環境整備・人事管理

(1) 職務環境

機関名	取組状況
市長	・障害者が執務しやすいよう環境整備に努めた。
教育委員会	
議会	・障害者の雇用がないため、実績なし
選挙管理委員会	
監査委員	
公平委員会	
農業委員会	
固定資産評価 審査委員会	

(2) 募集・採用

機関名	取組状況
市長	・募集・採用に当たり、障害者の方の不利とならないよう取り扱った。
教育委員会	
議会	・障害者の採用募集がなかったため、実績なし
選挙管理委員会	
監査委員	
公平委員会	
農業委員会	
固定資産評価 審査委員会	

(3) 働き方

機関名	取組状況
市長	・各種休暇制度等を周知し、利用促進を行った。
教育委員会	
議会	・障害者の雇用がないため、実績なし
選挙管理委員会	
監査委員	
公平委員会	
農業委員会	
固定資産評価 審査委員会	

(4) その他の人事管理

機関名	取組状況
市長	・障害者から相談を受け、要望や状況に応じた勤務体制の整備に努めた。
教育委員会	
議会	・障害者の雇用がないため、実績なし
選挙管理委員会	
監査委員	
公平委員会	
農業委員会	
固定資産評価 審査委員会	

4 その他

機関名	取組状況
市長	・障害者就労施設等への発注等を通じて、障害者の活躍の場の拡大を図った。
教育委員会	・実績なし
議会	・障害者就労施設等への発注等を通じて、障害者の活躍の場の拡大を図った。
選挙管理委員会	・実績なし
監査委員	
公平委員会	
農業委員会	・障害者就労施設等への発注等を通じて、障害者の活躍の場の拡大を図った。
固定資産評価 審査委員会	・実績なし

令和３年度「仕事の満足度等に関するアンケート調査」結果
(石巻市障害者活躍推進計画関係)

1 趣旨

障害者である職員の働きやすい環境を作り、現在の職に定着できるよう支援するため、仕事に対する満足度等や職場環境等に対する意見・希望を把握するもの。

2 対象者

本市職員のうち障害のある方

※ 「本市職員」とは、市長部局に属する職員のほか、教育委員会、議会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会その他行政委員会に所属する職員を含めている。また、常勤か非常勤かを問わず、会計年度任用職員も含めている。

※ 他団体からの派遣職員・人事交流職員は対象者に含めていない。

※ 「障害のある方」は、障害者手帳を有する方に限定していない。

3 調査期間

令和３年１１月５日から同年１１月２６日まで

4 調査結果

(1) 回答者数

８名（内訳：市長部局５名、教育委員会２名、匿名１名）

(2) 障害種別内訳

身体：４名 知的：０名 精神：４名

(3) アンケート集計結果等

別紙のとおり

5 満足度・ワーク・エンゲージメント¹に関する目標の達成度

(1) 仕事に対する満足度

目標値：８０％ 実績値：６２．５％

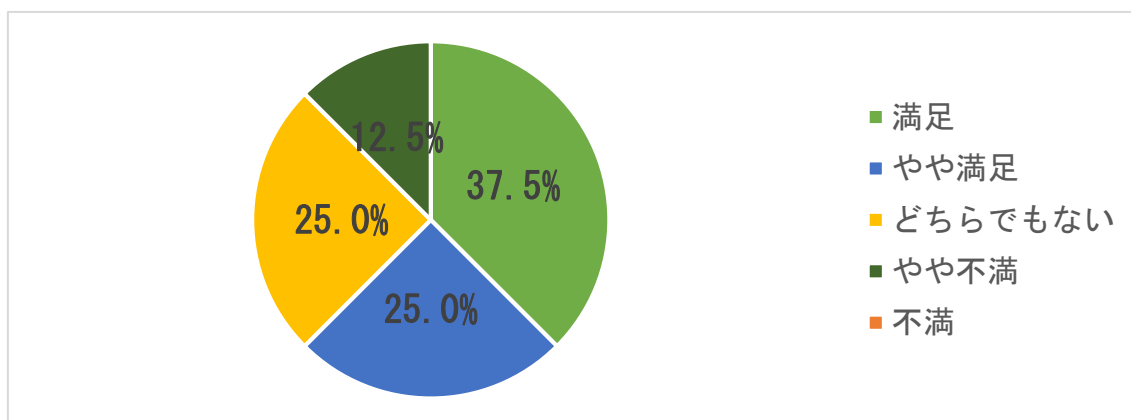
(2) ワーク・エンゲージメント

目標値：７０％ 実績値：６２．５％

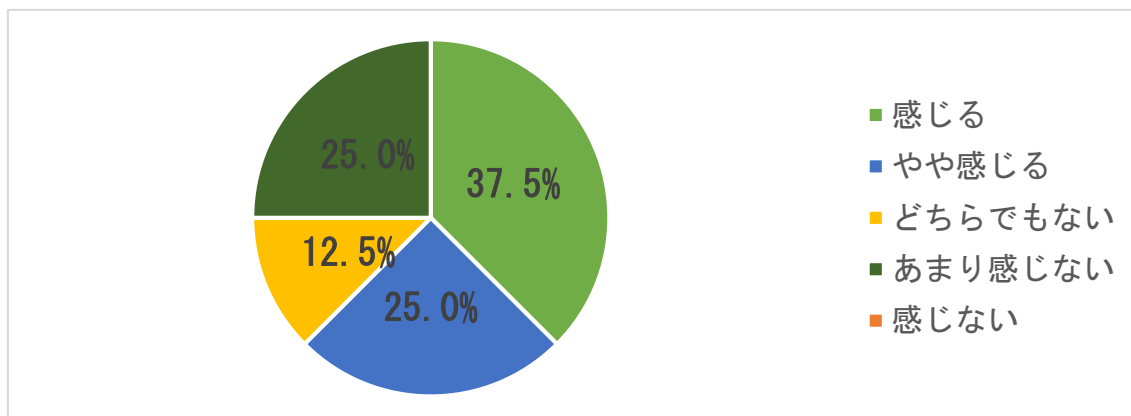
¹ ワーク・エンゲージメント（仕事への積極的関与の状態）とは、「仕事に誇りや、やりがいを感じている」（熱意）、「仕事に熱心に取り組んでいる」（没頭）、「仕事から活力を得ていきいきしている」（活力）の３つが揃った状態として定義されているものです。

アンケート集計結果等

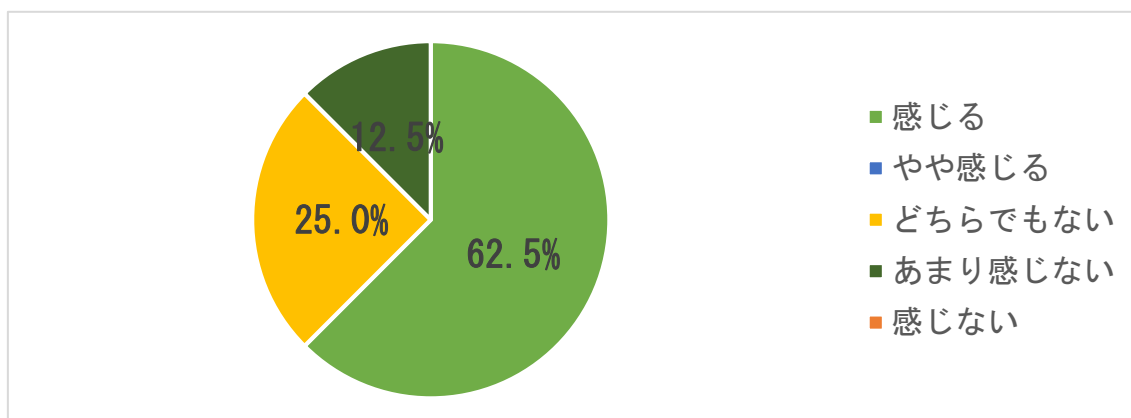
問1 現在の仕事に対する全体評価について



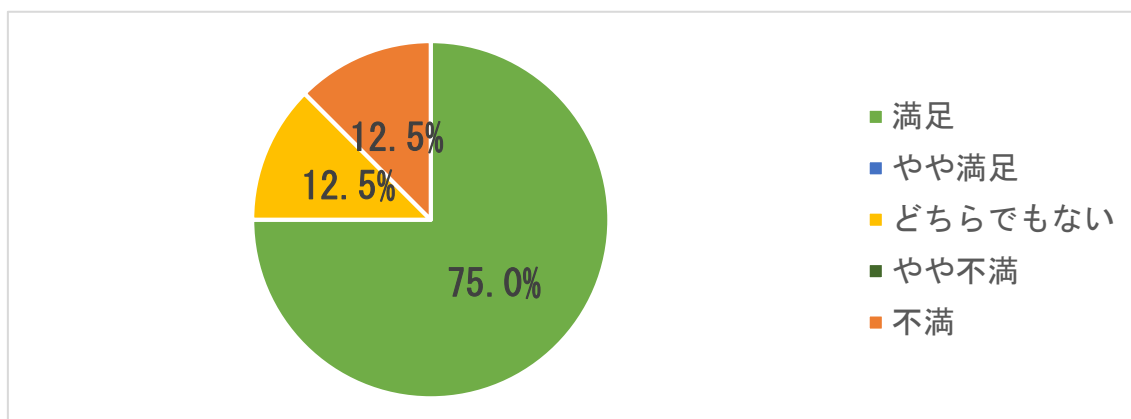
問2 現在の仕事のやりがいについて



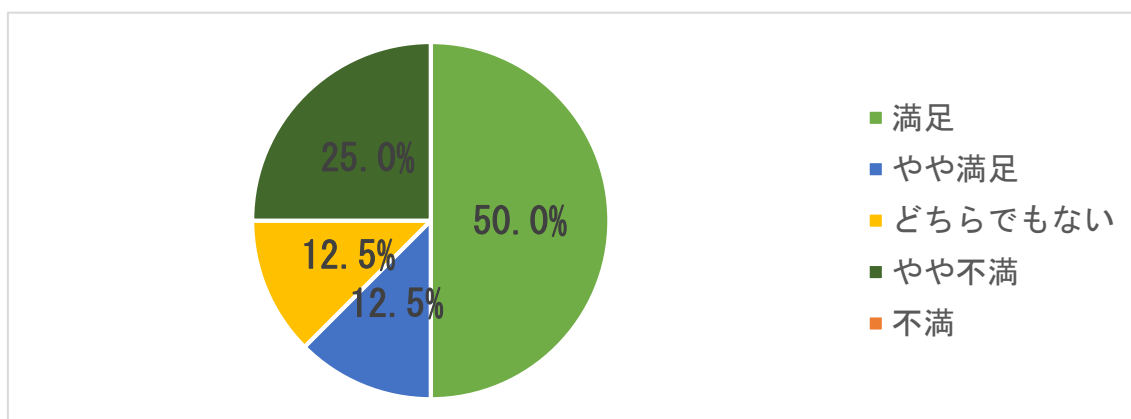
問3 現在の職場の働きやすさについて



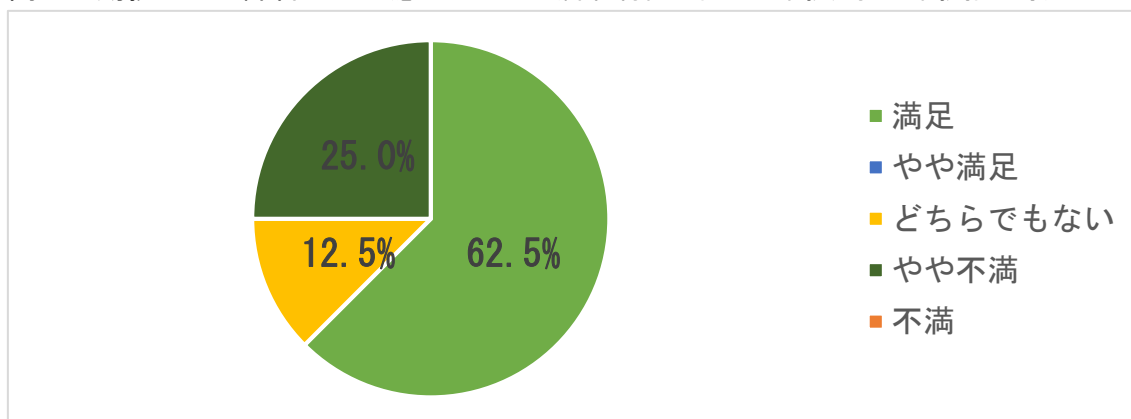
問4 現在の作業環境（スペース、導線など物理的な環境について）



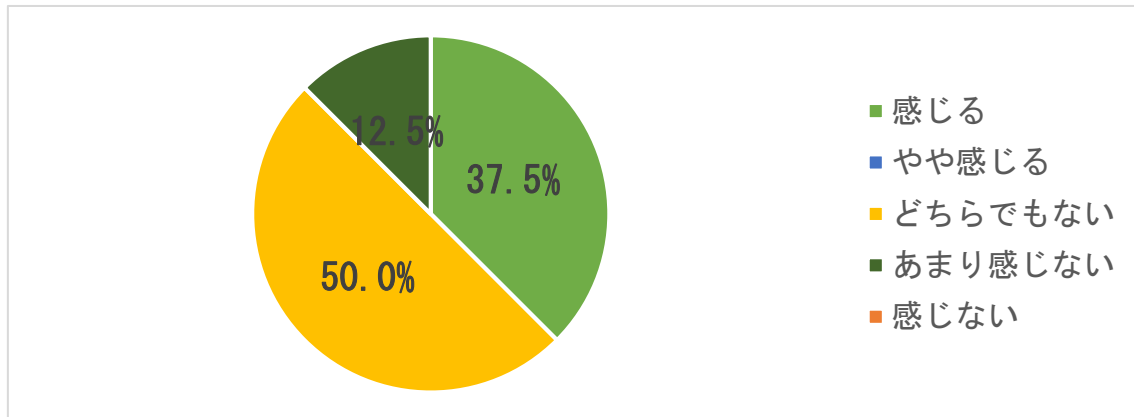
問5 相談体制等の職場環境について（周囲のサポートや相談しやすい職場の雰囲気等）



問6 勤務上での障害への配慮について（障害特性に合った業務分担・業務指示等）



問7 市役所内の障害者に対する理解について



○自由意見（要望・希望等）

No.	所属部局	内 容
1	市長部局	・慣れた場所の方が働きやすいからという配慮もあるかと思いますが、所属年数が長くなることで仕事面や精神的な面で負担に感じることも多くなっています。本当のところは、周囲の職員の方と同じようなサイクルで異動させてほしかったです。異動については、施設設備や通勤面で本庁舎が働きやすい環境です。 ・不満等は全くなく、毎日楽しく働かせていただいています。庁内全ての方々に感謝申し上げたい気持ちで一杯です。 ・通院のための休みが取りにくいです。体調を崩しやすく、周りの職員より休んでいることや、早く帰る分、計画的な休みが取れません。障害者の多くにとって通院は付きものです。現在は、家族に薬だけ貰ってきてもらうことが大半です。定期的な診察や検査を受けていない分、体調を崩しやすくなる悪循環にもなっている気がします。障害者の通院のための職専免の日を作っていただきたいと思います。毎月第3週の金曜（祝日の場合は別途設定）など、個々に設定することでより通院を促せ、健康維持にもなると思います。また、障害者の働きやすい職場というのは物理的なことよりも、周りの職員の意識が大きいと思います。
2	教育委員会	・通勤疲れか、眩暈等の身体的症状が出始めるようになった。自宅から近い勤務地を希望したい。視覚過敏のため照明がまぶしく感じることにについては、液晶画面の明るさを若干暗くする等の対策をとっている。受付業務は予想外の対応が多い為、精神的に負担もある。

【参考資料】

		・同じ傾向を持つ人同士、業務上で困っていること等について、匿名で情報交流できる仕組みがあればと思っています。自分と近い仕事をしている方がどのような工夫で業務をしているのか参考にできると大変助かると思います。
--	--	---

※ アンケートに記名のあった職員には、自由意見の内容に関する面談等の機会を設け、職場環境の改善につなげるよう対応しています。